

NACSIS-CAT/ILL

# ニュースレター

## Contents

1. NACSIS-CAT/ILL システムのハードウェアリプレイスに伴うサービス停止について	2
2. システムリプレイスに伴う業務用目録システムの接続先変更について	3
3. CiNii Books のこれまでの改修について	3
4. 電子リソース管理データベース (ERDB) プロトタイプ構築プロジェクトの実施状況について	5
5. 平成 23 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表の送付	6
(NACSIS-CAT)	
6. 「タイ文字資料に関する取扱い及び解説」(修正版) の公開	6
7. 総合目録データベース遡及入力事業の終了	7
8. OCLC 参照ファイルの提供終了	7
9. 目録システムの正規化処理についての改修 (報告)	8
10. 目録システムの改修 (出版国コード)	9
11. コーディングマニュアルの修正	10
(NACSIS-ILL)	
12. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 24 年度第 1 四半期～平成 24 年度第 2 四半期)	11
13. GIF プロジェクト ホームページの URL 変更	12
(教育研修事業)	
14. 平成 24 年度目録システム / ILL システム講習会の実施報告	12
15. 平成 24 年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップの実施報告	13
16. ILL システム講習会の終了	14
(付録)	
・「タイ文字資料に関する取扱い及び解説」(修正版)	
・コーディングマニュアル (付録 1.2 出版国コード表)	
・コーディングマニュアル差替	



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

## 国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

学術コンテンツ課

NACSIS-CAT 担当…………… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL 担当…………… Tel:03-4212-2320 Fax: 同 上

教育研修事業担当 …… Tel:03-4212-2177 Fax: 同 上

学術基盤課

システム管理担当 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

## NACSIS-CAT/ILL システムのハードウェアリプレイスに伴う サービス停止について

NACSIS-CAT/ILL システムのハードウェアリプレイスに伴い、サービス停止の予告をしていましたが、以下のとおり停止期間が決定しましたので、お知らせします。

### ●業務用目録所在情報システム

平成 25 年 3 月 16 日（土）、18 日（月）終日停止

※日曜日の通常停止を含めると、

平成 25 年 3 月 15 日（金）20:00～3 月 19 日（火）9:00  
の間停止

### ●教育用、講習会用、テスト用目録所在情報システム

平成 25 年 3 月 18 日（月）終日停止

※通常停止を含めると、

平成 25 年 3 月 15 日（金）18:00～3 月 19 日（火）9:00  
の間停止

### ●検索専用システム

平成 25 年 3 月 15 日（金）0:00～3 月 18 日（月）24:00 の間停止

各 MARC の更新は、3 月 11 日（月）～3 月 20 日（水）の間停止いたします。

なお、3 月 21 日（木）以降、この更新停止期間中に発行された MARC も含めて順次更新します。

運行状況については、以下のサイトもご参照ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/syskan/maintenance.html>

CiNii についても以下の期間はサービスの縮退が発生いたします。

### ●CiNii

平成 25 年 3 月 29 日（金）8:00～3 月 31 日（日）24:00 の間

機関認証、ユーザ ID によるログイン、一部の本文等がご利用いただけません。検索や論文情報、図書・雑誌情報の表示は可能です。

詳細は改めて CiNii のお知らせページや、機関定額制の連絡担当者の方へのメールにてお知らせします。

その他の付帯システムにつきましては、停止期間等が決定いたしましたら、下記サイトに公表いたしますので、適宜ご参照ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/system/servicestop.html>

(NACSIS-CAT 担当)

## システムリプレイスに伴う業務用目録システムの 接続先変更について

本誌 26 号 (2009.2.27)「システムリプレイスに伴う業務用目録システムの接続先変更について」にて既にお願ひしていましたが、この度のシステムリプレイスに伴い、[cat2-d.nii.ac.jp](http://cat2-d.nii.ac.jp)等は廃止しますので、改めて通常の接続先に設定を変更していただきますようお願いします。

なお、システムリプレイス後に、通常の接続先で業務用目録システムをご利用になれない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

システムリプレイス後の業務用サーバ接続先 : [cat2.nii.ac.jp](http://cat2.nii.ac.jp)

設定を変更していただきたい方 :

IP アドレスまたは [cat2-d.nii.ac.jp](http://cat2-d.nii.ac.jp) のドメインで接続先を設定している方

問い合わせ先

学術基盤課 総括・連携基盤チーム システム管理担当 [sys-desk@nii.ac.jp](mailto:sys-desk@nii.ac.jp)

もしくは、

学術コンテンツ課 図書館連携チーム NACSIS-CAT/ILL 担当 [catadm@nii.ac.jp](mailto:catadm@nii.ac.jp)

(学術基盤課)

## CiNii Books のこれまでの改修について

CiNii Books (<http://ci.nii.ac.jp/books/>) では平成 23 年 11 月のサービス開始以来、頻繁に機能追加や改修を行っています。その中から特に NACSIS-CAT/ILL のご担当者にお伝えしたい点について掲載します。

平成 24 年 8 月 31 日から、「その他のヨミ」(タイトル等が中国語の場合のピンイン表記, アラビア文字, タイ文字, デーヴァナーガリー文字, キリル文字などの場合のアルファベット翻字表記) を検索と表示の対象に追加しました。

検索フィールドと入力フィールドの対応は以下の通りです。

検索種別	検索項目	その他のヨミの対象フィールド
図書・雑誌検索	タイトル	「タイトル及び責任表示に関する事項 (TR)」, 「その他のタイトル (VT)」, 「内容著作注記 (CW)」
	著者名	「著者名リンク (AL)」
	フリーワード	上記のすべて
著者検索	著者名	「統一標目形 (HDNG)」, 「から見よ参照 (SF)」, 「からも見よ参照 (SAF)」

注：特殊文字・特殊言語やその翻字表記等に関しては CiNii Books における検索時の正規化の処理に NACSIS Webcat と異なる点があります。(大文字と小文字の違いを無視できない等。) 今年度中に Webcat と同等に改修する予定ですのでしばらくお待ちください。

その他, CiNii Books ではこれまでに以下の改修を行いました。詳細は CiNii のお知らせページ (<http://ci.nii.ac.jp/info/ja/index.html>) をご覧ください。

#### CiNii Books の主な機能改修一覧 (平成 24 年 12 月現在)

日付	内容
平成 23 年 11 月 17 日	詳細検索における必須入力項目をなくし, 分類, 件名, 注記のみを指定しての検索が可能に。
平成 23 年 12 月 8 日	ISSN, ISBN を指定した検索においてハイフンが無くても検索可能に。件名と分類から再検索のリンクを追加, 所蔵館一覧を図書館名称 (読み) の五十音順にソート, 図書館詳細画面に, 図書館略称と機関 ID の項目を追加。
平成 23 年 12 月 22 日	詳細検索において ISBN の検索をする場合に, 10 桁で指定しても 13 桁の ISBN にもヒットするように改修。
平成 24 年 1 月 25 日	詳細検索において分類を指定して検索する場合に, 「*」をつけることにより前方一致検索が可能に。
平成 24 年 2 月 16 日	タイトルの完全一致による検索, 詳細画面からの「書き出し」, ISBD 形式での書き出しを追加, 等。
平成 24 年 4 月 2 日	CiNii 認証の適用 (CiNii の契約機関内からは, 所蔵館一覧で自館を優先表示。OpenURL リンクを表示。), 文献管理ソフト (RefWorks, EndNote, Mendeley) への直接書き出し機能を追加。
平成 24 年 6 月 6 日	本の表紙イメージ (書影) の表示, ソーシャルメディア (Twitter, Facebook) 連携ボタンの追加等。
平成 24 年 8 月 31 日	タイトル順での並べ替え, 国外の地域を指定した検索の追加, 「その他読み」を検索と表示に追加。
平成 24 年 9 月 14 日	所蔵地域, 図書館での絞込み設定の保存。(特定の地域や図書館の所蔵資料のみを対象にした検索設定をブラウザに記憶可能に。)
平成 24 年 9 月 28 日	CiNii Articles との切り替え時に検索キーを引き継ぐように改修。著者詳細ページに Microsoft Academic Search へのリンクを追加等。

(学術コンテンツ課)

## 電子リソース管理データベース (ERDB) プロトタイプ構築 プロジェクトの実施状況について

国立情報学研究所では、電子リソース（電子ジャーナル、電子ブック等）の書誌情報と契約情報を一元的に管理し、日本国内の大学図書館等で入手可能な電子リソースの総合目録を構築するために、電子リソース管理データベース (ERDB) プロトタイプ構築プロジェクトを実施しています。このプロジェクトは、電子および紙の学術情報に利用者をより迅速かつ的確にナビゲートする情報アクセスの改善と、図書館での電子リソース管理業務に必要なデータの共有を目的としています。

平成 24 年度は、以下の 12 機関および大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) と協力して、プロトタイプを開発し、その検証を行いつつ必要な情報を収集してきました。平成 26 年度後半の運用開始を目指して、国立情報学研究所と大学図書館との連携・協力の枠組みの下で、活動を続けていきます。

詳細は、以下の URL を参照してください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/content/erdb/> (予定)

### 電子リソース管理データベース (ERDB) プロトタイプ構築プロジェクト メンバー

東北大学	菅原 透
東京大学	山崎 裕子
電気通信大学	上野 友稔
一橋大学	小野 亘
横浜国立大学	平田 義郎
京都大学	大前 梓
九州大学	香川 朋子 片岡 真 別府 妙子
大阪市立大学	中村 健
学習院大学	瀬戸山 雄介
慶應義塾大学	古賀 理恵子 渡邊 英理子
明治大学	松並 康子 仲山 加奈子
国立情報学研究所	渡邊 留美
大学図書館コンソーシアム 連合 (JUSTICE) 事務局	熊渕 智行 今村 昭一 守屋 文葉
国立情報学研究所 ERDB プロジェクトチーム (事務局)	大向 一輝 鈴木 秀樹 田邊 稔 高橋 菜奈子 吉田 幸苗 塩出 郁 (大阪大学・実務研修生)
産学連携研究員	伊藤 民雄

(学術コンテンツ課)

## 平成 23 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表の送付

昨年度から、NACSIS-CAT/ILL 業務分析表については、データ利用の利便性を鑑み、メール添付によるデータ（Excel 形式）送付のみとなっています。

ご希望の機関は、以下のとおり、メールでの申請をお願いします。

- ・ メール宛先：catadm@nii.ac.jp（学術コンテンツ課 NACSIS-CAT 担当）
- ・ メール件名：H23 業務分析表電子データ申請（機関名）
- ・ 申請内容  
機関名，KID 番号（不明の場合は参加組織番号），担当者名，メールアドレス

詳しくは、以下の URL にてお知らせしています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/bunseki2012.html>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

## 「タイ文字資料に関する取扱い及び解説」（修正版）の公開

本誌 35 号(2012.6.29)でパブリックコメントを募集しました「タイ文字資料に関する取扱い及び解説」の修正版を正式に公開しました。今後の目録作成作業においては、平成 24 年 12 月 25 日公開の修正版をご使用ください。なお、コーディングマニュアル(タイ文字資料に関する抜粋集)の修正はありません。

詳しくは、以下の URL にてお知らせしています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/catmanual.html>

なお、本号に付録として「タイ文字資料に関する取扱い及び解説」（修正版）を添付します。

(NACSIS-CAT 担当)

## 総合目録データベース遡及入力事業の終了

平成16年度より3期9年間に渡って実施してきました総合目録データベース遡及入力事業について、平成24年度をもちまして事業を終了します。

各機関の図書の遡及入力事業の呼び水となるべく、推進されてきた本事業ですが、各機関における自発的な遡及入力が促進されるに至り、当初の役割を果たしたと判断し、学術コンテンツ運営・連携本部の審議の結果、終了することとなりました。関係者の皆様には、長い間、ご協力いただきましてありがとうございました。

今後は、電子資料の管理等、参加機関が新たに直面している課題に尽力する所存です。

国立情報学研究所 総合目録データベース遡及入力事業全体計画及び実績推移

※（ ）内冊数は予定

	第1期 H16-H18			第2期 H19-H21			第3期 H22-H24		
本事業登録冊数(万冊)	84			122			(43)		
中心事業	多言語・レアコレクション			大規模遡及入力支援			遡及入力支援 (多言語・レアコレクション)		
応募機関数	56	75	65	43	46	34	30	26	23
採択機関数	29	52	37	14	17	14	11	8	9

(NACSIS-CAT 担当)

## OCLC 参照ファイルの提供終了

平成16年度より NACSIS-CAT の参照ファイルとして、OCLC Worldcat を提供してまいりましたが、平成24年度をもって提供を終了することとなりました。

OCLC Worldcat を含む参照ファイルの提供については、利用状況や契約条件等を勘案しつつ様々な検討を重ねてまいりましたが、費用対効果の低下等により、下記のとおり終了することとなりました。

これまでご利用いただいていた皆様にはご不便をおかけすることになりますが、新規参照ファイルの導入検討等、引き続きご満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。

### 記

終了サービス：NACSIS-CAT 参照ファイル OCLC Worldcat の提供

終了日時：平成25年3月29日（金）20:00

(NACSIS-CAT 担当)

## 目録システムの正規化処理についての改修（報告）

本誌 35 号(2012.6.29)でお知らせしました目録システム正規化処理について、改修を行い、平成 24 年 11 月にサーバへの実装を行いました。

主な改修点は、以下のとおりです。

1. 大文字小文字の正規化を行い、大文字・小文字いずれであっても検索を可能にする。
2. 複数の要素によって構成されている文字であって、個別の要素と文字全体についてそれぞれ文字コードが割り当てられているものは正規化・包摂を行う。
3. 各文字種に固有の数字については、インデックスの正規化を行い、アラビア数字での検索を可能とする。
4. 音標記号の付加された文字については、インデックスの正規化によって、音標記号の付加されない文字に揃え、いずれの文字においても検索を可能とする。なお、一部文字について既存の定義を変更した。
5. アラビア文字のアリフおよびアインの翻字形について、正しく U+02BE, U+02BF で検索した場合でも、アポストロフィ (U+0027) を使用した場合でも、検索に漏れないように、U+02BE, U+02BF を従前どおりトルツメ処理したインデックスと U+02BE, U+02BF を U+0027 に変換したインデックスを作成する。なお、U+02BE, U+02BF と同様に、U+02BC, U+02BB についても、トルツメ処理したインデックスと、U+0027 に変換したインデックスを作成する。
6. 5.と同様、キリル文字の軟音符 (ь) および硬音符 (Ъ) の翻字形についても、正しく U+02B9, U+02BA で検索した場合でも、アポストロフィ (U+0027) を使用した場合でも、検索に漏れないように、U+02B9, U+02BA をトルツメ処理したインデックスと、U+02B9 を U+0027 に、U+02BA を U+0027, U+0027 に変換したインデックスを作成する。なお、U+2032 は U+02B9 と、U+2033 は U+02BA と同様の処理を行う。

詳細は、以下の URL を参照してください。

URL: <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/catmanual.html>



本誌 35 号(2012.6.29)に掲載しました「目録システムの正規化処理についての改修」の文中にあやまりがありましたので、お詫びの上、訂正いたします。下線部が訂正部分です。

5. アラビア文字のアリフおよびアインの翻字形について、正しく U+02BE, U+02BF で検索した場合でも、アポストロフィ (U+0027) を使用した場合でも、検索に漏れがないように、U+02BE, U+02BF を従前どおりトルツメ処理したインデクスと U+02BE, U+02BF を U+0027 に変換したインデクスを作成する。なお、現在、USMARC ではアリフの翻字およびアインの翻字を、U+02BC, U+02BB としているが、NACSIS-CAT においては、平成 15 年 7 月に「アラビア文字資料に関する取扱い及び解説およびコーディングマニュアル」を公開した経緯と、現在のデータでの文字コードの使用状況を踏まえ、以下の文字を使用することとする。

アリフの翻字 → 02BE 「'」 MODIFIER LETTER RIGHT HALF RING

アインの翻字 → 02BF 「'」 MODIFIER LETTER LEFT HALF RING

ただし、USMARC からの流用により、U+02BC, U+02BB がそのまま使用されていることも考慮にいれ、U+02BC, U+02BB についても、U+02BE, U+02BF と同様の処理を行う。

(NACSIS-CAT 担当)

## 目録システムの改修（出版国コード）

以下のとおり、目録システムの改修を行いました。

新コードによる運用は、平成 24 年 11 月 30 日（金）から実施しています。

### ・出版国コード

<追加するもの>

ca	Caribbean Netherlands	sd	South Sudan
co	Curaçao	sn	Sint Maarten
sc	Saint-Barthélemy	st	Saint-Martin

<廃止するもの>

na	the Netherlands Antilles
----	--------------------------

付録として、改訂後の「コーディングマニュアル 付録 1.2 出版国コード表」を添付します。

(NACSIS-CAT 担当)

## コーディングマニュアルの修正

コーディングマニュアルについて、以下のとおり修正を行いました。

1.1.3B	(1) 不等号について、「和書においてはかぎ括弧、洋書においてはダブルクォーテーションを使用する」に修正。
2.1.12F2 4.1.12F2	「(若しくは中位の集合書誌単位)」を削除。
2.2.3F2.1	「刊行中のときは開始年を記録する」となっていたものを、洋図書と同様、「刊行中のときは開始年を記録し、ハイフン(－)を続ける。」と修正。
4.2.7F2.1	ア) 地図資料の Scale の記録について、「導入語句を付して記録する」と修正。
6.0.1 A1.2	(7)文字種の変化の例示を差替。
6.2.7F3.21	機関リポジトリの URL についての注記を追加。
8.5.1F6 9.5.1F 12.5.1F 25.0.D3	旧 CAT に関する記述を削除。
51.1C15	「国立国会図書館『日本目録規則』適用細則に従い,」を削除

また、以下のページの誤植を修正しました。

4.0D	TR:Indian economy : problems [sic] を TR:Indian economy : probelms [sic] に訂正。(タイトル等の誤植の場合は、情報源にある誤植のまま記録し、後ろに[sic]と記録する例)
6.0.4D4	導入語句(アクセス: Access: など)の後ろに半角スペースを挿入
12.3.1A～ 12.3.1D	番号の誤植を訂正。
12.3.2C	番号の誤植を訂正。

以上について、差替えページを付録として添付します。

(NACSIS-CAT 担当)

## ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告

### (平成 24 年度第 1 四半期～平成 24 年度第 2 四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

#### ■ 平成 24 年度第 1 四半期 (平成 24 年 4 月～6 月)

- ・利用機関数：843
- ・処理対象 ILL レコード件数：199,210 (NACSIS-ILL 総レコード件数：221,385)

		対債務機関	対債権機関
機関数		492	351*
NII の請求額/支払額		24,021,733	▲18,671,907*
内 訳	相殺金額	20,928,969	▲20,928,969
	運営費 (税込)	3,093,300	2,211,300
	前期債権繰越額	▲536	▲105
	振込手数料	0	45,867

\* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(9 機関, 3,756 円)が含まれています。

#### ■ 平成 24 年度第 2 四半期 (平成 24 年 7 月～9 月)

- ・利用機関数：847
- ・処理対象 ILL レコード件数：186,237 (NACSIS-ILL 総レコード件数：207,496)

		対債務機関	対債権機関
機関数		498	349*
NII の請求額/支払額		19,654,955	▲19,583,798*
内 訳	相殺金額	19,643,508	▲19,643,508
	運営費 (税込)	14,175	4,725
	前期債権繰越額	▲2,728	▲1,028
	振込手数料	0	56,013

\* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(18 機関, 8,572 円)が含まれています。

(NACSIS-ILL 担当)

## GIF プロジェクト ホームページの URL 変更

平成 24 年 8 月から、GIF (Global ILL Framework) プロジェクトのホームページ URL が変更になりました。新しい URL は以下のとおりです。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/gif/>

(NACSIS-ILL 担当)

## 平成 24 年度目録システム/ILL システム講習会の実施報告

平成 24 年度の目録システム/ILL システム講習会を、下記のとおり実施しました。

本講習会は、平成 20 年度より次の構成で実施しています。

- 1) 職場でのセルフラーニング (NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材、および修得テストの履修)
- 2) 講習会場での集合研修 (講義・実習)

講習会名	回 数		修了者数
目録システム講習会 (図書コース)	NII 会場	6 回	333 名
	地域会場	7 回	
目録システム講習会 (雑誌コース)	NII 会場	2 回	179 名
	地域会場	5 回	
ILL システム講習会	地域会場	4 回	95 名
計		24 回	607 名

平成 25 年度も、引き続き「職場でのセルフラーニング」と「講習会場での集合研修」をもって、講習会の課程を修了するものとします。受講者の所属機関においては、業務時間内でのセルフラーニング教材の視聴、および、修得テストの受験について、ご配慮くださいますようお願いいたします。

なお、セルフラーニング教材は利用申込することにより、どなたでもご利用になれます。詳細については、以下の教育研修事業ウェブサイトにてお知らせしています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/>

平成 25 年度の講習会開催に係る情報は、『平成 25 年度教育研修事業要綱』として、平成 25 年 4 月に各機関宛に冊子をお送りするとともに、上記ウェブサイトでもお知らせします。

(教育研修事業担当)

## 平成24年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップの実施報告

平成24年7月18日(水)～20日(金)に、「目録業務における外部データ活用のモデル設計」をテーマに、国立情報学研究所国際高等セミナーハウス(長野県軽井沢町)においてNACSIS-CAT/ILL ワークショップを開催しました。

今年度のワークショップは、外部データの活用をテーマに、運用体制やシステムの改善を検討し、今後の目録業務のあり方を考える契機とすることを目的に、3日間の合宿形式で行いました。受講者は、グループ討議のテーマとして、「TRCMARCの事前書誌登録」「NDL-OPAC及び国立国会図書館サーチからの事前書誌登録」「書誌名寄せ技術を活用した重複除去」のいずれかを選択し、各グループとも活発に討議を行いました。最終日は、成果発表と講師も交えた全体討議を行い、大変有意義なワークショップとなりました。

## ◆ 講義内容

講義名	講師	
NACSIS-CATの現状と課題	佐藤 義則	東北学院大学 文学部教授
TRCMARC 作成の実際	松木 暢子 伊藤 洪二	株式会社図書館流通センター データ事業部
JAPAN/MARC データの提供について	大柴 忠彦	国立国会図書館 収集書誌部
CiNii の名寄せ技術	大向 一輝	国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系准教授
外部 MARC を活用した目録業務の実際	河野 江津子	慶應義塾大学メディアセンター本部

## ◆ グループ発表内容

発表タイトル	受講者	
TRCMARC の事前書誌登録について	池上道代(東洋英和女学院大学)	柿本匡晶(神戸市外国語大学)
	山本豪(鳴門教育大学)	吉村康子(園田学園女子大学)
目からウロコの新目録システム	大塚由希子(山口大学)	橋井嘉枝子(鳥取大学)
	矢崎美香(九州女子大学)	
みんなでつくろう、らくらく目録	工藤絵理子(九州大学)	平田栄夫(北海道大学)
	益本禎朗(神戸大学)	

講義資料、受講者の成果物等は、教育研修事業ウェブサイトで公開しています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/>

(教育研修事業担当)

## ILL システム講習会の終了

NACSIS-ILL システムの操作方法等に関する知識を修得する ILL システム講習会は、平成 24 年度の講習会をもって終了します。

NACSIS-ILL システムに関しては、平成 20 年度からセルフラーニング (SL) 教材を提供しており、講習会と同等の内容を学習できる環境が整備されています。SL 教材は、5 年間の運用において、延べ約 7,800 名 (CAT 編, ILL 編双方含む) の方にご利用いただいております。集合研修を代替する手段が整っていることから、学術コンテンツ運営・連携本部の審議を経て、NII 主催による講習会を終了することとなりました。

なお, ILL システム講習会は, 平成 4 年の NACSIS-ILL システム運用開始の前年より開始され, 22 年間 (平成 3~24 年) の修了者数は 3,661 名です。これまでに本講習会をご受講いただきました皆様, また, 本講習会開催にご尽力くださいました大学の皆様に深く感謝申し上げます。

今後, NACSIS-ILL システムの操作方法等の修得には, SL 教材をご利用くださいますようお願い申し上げます。

SL 教材のお申し込みにつきましては, 以下の URL をご参照ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/product/cat/slcat.html>

(教育研修事業担当)

# タイ文字資料に関する取扱い及び解説

(平成 24 年 12 月 25 日修正版, 平成 25 年 1 月より適用)

本取扱いでは、タイ文字資料の運用開始にあたり、書誌レコード作成上、これまでの運用と大きく異なる点を中心に取りまとめた。各事項の具体的なデータ記入の方法については、別途作成している「コーディングマニュアル」で規定する。

## 1. 適用範囲

本取扱いは、タイ文字で書かれた資料を対象とする。

## 2. 適用する目録規則

タイ文字資料の登録においては、「英米目録規則第2版(1988年改訂、1993年修正)」を適用する。

## 3. 目録用言語

タイ文字資料においては、目録用言語として英語を用いる。ただし、必要に応じて、目録対象資料の本文の言語を目録用言語として使用できる。

## 4. 記述に用いる文字

転記の原則に従い、原則として、記述対象資料に表示されているままの字体（タイ文字）を使用する。

タイ語において使用される声調記号及び黙字記号は、検索キーとしては各々の記号を付さないことが想定される。検索漏れの危険性を考慮し、声調記号及び黙字記号の有無に関わらず検索できるように、目録システムの改造を実施する。

また、アラビア文字資料では固有の数字をいわゆるアラビア数字に置き換えて入力する事とし、固有の数字が入力された場合にはアラビア数字として格納されるよう目録システムの改造を行った。それに対して、タイ文字資料では、数字についても転記の原則を適用し、巻冊次、親書誌番号、版表示など英米目録規則およびコーディングマニュアルで定める特定のフィールドを除いて、書かれている通りの文字種で記述することとした。また、検索時にはいわゆるアラビア数字で検索される可能性を考慮し、数字の種別にかかわらず検索できるように、目録システムの改造を実施する。

## 5. 原綴分かち書きの取扱い

タイ文字資料においては、原綴の分かち書きをヨミフィールドに記録する。

分かち書きの単位は、ALA-LC翻字表の分かち書きルールに従い、原則として単語単位とする。

タイ文字の書誌レコードにおいては、単語単位の検索を可能とするため、原綴の単語単位の分かち書きを、ヨミフィールド(TRR, VTR, CWR)に記録することとした。

なお、分かち書きをしないのがタイ語の一般的な原則であるが、資料に書かれたタイトルに分かち書きされた部分がある場合は、書かれている通りの形を記録した上で、分かち書きをしない形は、必要に応じて VT:VT:として記録することとする。

## 6. 翻字形の取扱い

タイ文字資料の書誌レコードにおいては、ALA-LC 翻字形をその他のヨミとして記録する。

タイ文字の書誌レコードにおいては、ローマン・アルファベットによる翻字形は、ALA-LC の翻字表を基本とし、その他のヨミ (TRVR、VTVR、CWVR) フィールドに入力することとした。

## 7. 既存データの取扱い

既存データについては、本取扱いにもとづき修正可能な参加館が修正を行う。

## 8. 典拠の扱い

原則として ALA-LC 翻字形を標目形とする。ただし、既存の典拠において、ALA-LC 翻字形でない翻字形や、英語やその他言語での表記を標目形としている場合は、HDNG フィールドは現状維持とし、SF フィールドに ALA-LC 翻字形を記入する。原綴による表記は、SF フィールドに記入する。

タイ人の人名表記は「英米目録規則第2版(1988年改訂、1993年修正)」の規定にしたがって、名、姓の順で表記する。すなわち、記述対象資料に書かれているとおりの順序で、名と姓の間にスペースを入れて記録する。タイ人名は名、姓の順であるが、欧米の人名のように名と姓を倒置することはしない。また、名と姓の間にカンマや点 (ナカグロ) を入れることはしない。称号も「英米目録規則第2版(1988年改訂、1993年修正)」の規定にしたがって記録する。

個人名の場合は、SF フィールドに倒置形も記録することとする。また、著者名や団体名の英文表記等に ALA-LC 翻字形とは異なる翻字形を使用している場合は、それも SF フィールドに記録する。



## 9. レコードの登録例

### (1) 書誌レコードの例 1

TR:ยุทธศาสตร์สร้างสรรค์พลังแผ่นดินเพื่อการพัฒนาประเทศ / ธรรมรักษ์ การพิศิษฐ์ | ยุทธศาสตร์  
สร้างสรรค์ พลัง แผ่นดิน เพื่อ การพัฒนา ประเทศ | Yutthasāt sāngsan phalang phāndin phūa  
kānphatthanā prathēt  
PUB:กรุงเทพฯ : สำนักงานคณะกรรมการพัฒนาเศรษฐกิจและสังคมแห่งชาติ , 2544 [2001]  
PHYS:161 p. ; 29 cm  
NOTE:Summary: Analysis on economic policy and development trends in Thailand  
AL:\*Thammarak Kānphisit <DA17001507>  
AL:Thailand. Samnakngān Khana Kammakān Phatthanākān Sētthakit læ Sangkhom hāng  
Chāt <DA03942201>  
CLS:LCC:HC445  
SH:LCSH:Thailand -- Economic policy -- 1986-//F  
SH:LCSH:Thailand -- Economic conditions -- 1986-//F

### (2) 書誌レコードの例 2

TR:สังคมไทยกับการพัฒนาที่ก่อปัญหา / เสน่ห์ จามริก = Thai society and development problematique /  
by Saneh Chamarik | สังคม ไทย กับ การพัฒนา ที่ ก่อ ปัญหา | Sangkhom Thai kap kānphatthanā  
thī kō panhā  
PUB:กรุงเทพฯ : โครงการจัดพิมพ์คบไฟ , 2537 [1994]  
PHYS:461 p. : ill. ; 22 cm  
NOTE:In Thai  
NOTE:Includes bibliographical references (p. 423-449)  
AL:\*Sanē Čhāmarik <DA06808668>  
CLS:LCC:HC445  
SH:LCSH:Thailand -- Economic conditions//F  
SH:LCSH:Thailand -- Social conditions//F  
SH:LCSH:Thailand -- Politics and government//F

### (3) 書誌レコードの例 3

TR:เศรษฐีจีนรวยได้อย่างไร = 華僑如何成巨富 / โดย บุญชัย ใจเย็น | เศรษฐี จีน รวย ได้ อย่างไร = カキョ  
ウ ジョカ セイ キョフ | Sētthī Čhīn rūai dai yāngrai = hua qiao ru he cheng ju fu  
PUB:กทม. [i.e. กรุงเทพมหานคร] : บุญชัย ใจเย็น , 2525 [1982]  
PHYS:151 p. : ill. ; 27 cm  
NOTE:Cover title  
NOTE:"คุณว่าคนเงินค้ายายเก่งใช่ไหม คุณลองอ่านคู่มือแล้วคุณจะรู้ว่าทำไมเขาจึงเก่ง"--Cover  
PTBL:ชุดชีวิตมหาเศรษฐี | ชุด ชีวิต มหาเศรษฐี | Chut chīwit mahāsētthī <BB04873546> ฉบับที่ 8//a  
AL:\*Bunchai Čhaiyen <DA1159878X>  
SH:LCSH:Chinese -- Thailand -- Economic conditions//K

SH:LCSH:Chinese -- Thailand//K

SH:LCSH:National characteristics, Chinese//K

(4)著者名典拠レコードの例1 (個人名)

HDNG: Wilai Tōmorakun

TYPE: p

SF: Tōmorakun, Wilai

SF: วิลัย ไตมรกุล

SF: Vilai Tomorakul

(5)著者名典拠レコードの例2 (団体名)

HDNG: Čhulālongkōnmahāwitthayālai

TYPE: c

SF: Chulalongkorn University

SF: Čhulālongkōn Mahāwitthayālai

SF: จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

SF : チュラロンコン大学||チュラロンコン ダイガク

SF : チュラーロンコーン大学||チュラーロンコーン ダイガク

以上

## 付録 1. 2 出版国コード表

## 〔コード表〕

以下では、国名・地域名の英語形アルファベット順に出版国コードを示す。

コード	国名・地域名
a f	Afghanistan (アフガニスタン)
a a	Albania (アルバニア)
a e	Algeria (アルジェリア)
a s	American Samoa (米領サモア)
a n	Andorra (アンドラ)
a o	Angola (アンゴラ)
a m	Anguilla (アンギラ)
a y	Antarctica (南極地域)
a q	Antigua and Barbuda (アンチグア・バーブーダ)
a g	Argentina (アルゼンチン)
a i	Armenia (アルメニア共和国)
a w	Aruba (アルバ)
a t	Australia (オーストラリア)
a u	Austria (オーストリア)
a j	Azerbaijan (アゼルバイジャン共和国)
b f	Bahamas (バハマ)
b a	Bahrain (バーレーン)
b g	Bangladesh (バングラデシュ)
b b	Barbados (バルバドス)
b w	Belarus (ベラルーシ共和国)
b e	Belgium (ベルギー)
b h	Belize (ベリーズ)
d m	Benin (ベナン)
b m	Bermuda Islands (バーミューダ諸島)
b t	Bhutan (ブータン)
b o	Bolivia (ボリビア)
b n	Bosnia and Hercegovina (ボスニア・ヘルツェゴビナ)
b s	Botswana (ボツワナ)
b v	Bouvet Island (ブーベ島)
b l	Brazil (ブラジル)
b i	British Indian Ocean Territory (英領インド洋地域)
v b	British Virgin Islands (英領ヴァージン諸島)
b x	Brunei (ブルネイ)

## 〔コード表〕 (続)

コード	国名・地域名
b u	Bulgaria (ブルガリア)
u v	Burkina Faso (ブルキナファソ)
b r	Burma (ビルマ)
b d	Burundi (ブルンジ)
c b	Cambodia (カンボジア)
c m	Cameroon (カメルーン)
c n	Canada (カナダ)
c v	Cape Verde (カーボベルデ)
c a	Caribbean Netherlands (オランダカリブ領域)
c j	Cayman Islands (ケイマン諸島)
c x	Central African Republic (中央アフリカ)
c d	Chad (チャド)
c l	Chile (チリ)
c c	China (中華人民共和国)
x a	Christmas Island (クリスマス島)
x b	Cocos Islands (ココス諸島)
c k	Colombia (コロンビア)
c q	Comoros (コモロ)
c f	Congo (Brazzaville) (コンゴ共和国)
c g	Congo (Democratic Republic) (コンゴ民主共和国)
c w	Cook Islands (クック諸島)
c r	Costa Rica (コスタリカ)
c i	Croatia (クロアチア)
c u	Cuba (キューバ)
c o	Curaçao (キュラソー)
c y	Cyprus (キプロス)
x r	Czech Republic (チェコ)
d k	Denmark (デンマーク)
f t	Djibouti (ジブチ)
d q	Dominica (ドミニカ国)
d r	Dominican Republic (ドミニカ共和国)
e m	East Timor (東チモール)
e c	Ecuador (エクアドル)
u a	Egypt (エジプト)
e s	El Salvador (エルサルバドル)
e g	Equatorial Guinea (赤道ギニア)
e a	Eritrea (エリトリア)
e r	Estonia (エストニア共和国)
e t	Ethiopia (エチオピア)

〔コード表〕（続）

コード	国名・地域名
f k	Falkland Islands (フォークランド諸島)
f a	Faroe Islands (フェロー諸島)
f j	Fiji (フィジー)
f i	Finland (フィンランド)
f r	France (フランス)
f g	French Guiana (仏領ギアナ)
f p	French Polynesia (仏領ポリネシア)
g o	Gabon (ガボン)
g m	Gambia (ガンビア)
g z	Gaza Strip (ガザ地帯)
g s	Georgia (Republic) (グルジア共和国)
g w	Germany (ドイツ=ドイツ連邦共和国)
g h	Ghana (ガーナ)
g i	Gibraltar (ジブラルタル)
g r	Greece (ギリシャ)
g l	Greenland (グリーンランド)
g d	Grenada (グレナダ)
g p	Guadeloupe (グアドループ島)
g u	Guam (グアム)
g t	Guatemala (グアテマラ)
g v	Guinea (ギニア)
p g	Guinea-Bissau (ギニアビサオ)
g y	Guyana (ガイアナ)
h t	Haiti (ハイチ)
h m	Heard and McDonald Islands (ヘッド島・マクドナルド島)
h o	Honduras (ホンジュラス)
h u	Hungary (ハンガリー)
i c	Iceland (アイスランド)
i i	India (インド)
i o	Indonesia (インドネシア)
i r	Iran (イラン)
i q	Iraq (イラク)
i y	Iraq-Saudi Arabia Neutral Zone (イラクーサウジアラビア中立地帯)
i e	Ireland (アイルランド)
i s	Israel (イスラエル)

## 〔コード表〕（続）

コード	国名・地域名
i t	Italy (イタリア)
i v	Côte d'Ivoire (コートジボアール)
j m	Jamaica (ジャマイカ)
j a	Japan (日本)
j i	Johnston Atoll (ジョンストン・アトール)
j o	Jordan (ヨルダン)
k z	Kazakhstan (カザフ共和国)
k e	Kenya (ケニア)
g b	Kiribati (キリバス)
k n	Korea (North) (北朝鮮＝朝鮮民主主義人民共和国)
k o	Korea (South) (大韓民国)
k v	Kosovo (コソボ)
k u	Kuwait (クウェート)
k g	Kyrgyzstan (キルギス共和国)
l s	Laos (ラオス)
l v	Latvia (ラトビア共和国)
l e	Lebanon (レバノン)
l o	Lesotho (レソト)
l b	Liberia (リベリア)
l y	Libya (リビア)
l h	Liechtenstein (リヒテンシュタイン)
l i	Lithuania (リトアニア共和国)
l u	Luxembourg (ルクセンブルク)
x n	Macedonia (マケドニア)
m g	Madagascar (マダガスカル)
m w	Malawi (マラウイ)
m y	Malaysia (マレーシア)
x c	Maldives (モルジブ)
m l	Mali (マリ)
m m	Malta (マルタ)
x e	Marshall Islands (マーシャル諸島)
m q	Martinique (マルチニーク島)
m u	Mauritania (モーリタニア)
m f	Mauritius (モーリシャス)
o t	Mayotte (マイヨット島)

〔コード表〕（続）

コード	国名・地域名
m x	Mexico (メキシコ)
f m	Micronesia (Federated States) (ミクロネシア連邦)
x f	Midway Islands (ミッドウェー諸島)
m v	Moldova (モルドバ共和国)
m c	Monaco (モナコ)
m p	Mongolia (モンゴル)
m o	Montenegro (モンテネグロ)
m j	Montserrat (モントセラト)
m r	Morocco (モロッコ)
m z	Mozambique (モザンビーク)
s x	Namibia (ナミビア)
n u	Nauru (ナウル)
n p	Nepal (ネパール)
n e	Netherlands (オランダ)
n l	New Caledonia (ニューカレドニア)
n z	New Zealand (ニュージーランド)
n q	Nicaragua (ニカラグア)
n g	Niger (ニジェール)
n r	Nigeria (ナイジェリア)
x h	Niue (ニウエ)
n x	Norfolk Island (ノーフォーク島)
n w	Northern Mariana Islands (北マリアナ連邦)
n o	Norway (ノルウェー)
m k	Oman (オマーン)
p k	Pakistan (パキスタン)
p w	Palau (パラオ)
p n	Panama (パナマ)
p p	Papua New Guinea (パプア・ニューギニア)
p f	Paracel Islands
p y	Paraguay (パラグアイ)
p e	Peru (ペルー)
p h	Philippines (フィリピン)
p c	Pitcairn Island (ピトケアン島)
p l	Poland (ポーランド)
p o	Portugal (ポルトガル)
p r	Puerto Rico (プエルトリコ)

## 〔コード表〕 (続)

コード	国名・地域名
q a	Qatar (カタール)
r e	Réunion (レユニオン)
r m	Romania (ルーマニア)
r u	Russia (Federation) (ロシア連邦)
r w	Rwanda (ルワンダ)
s c	Saint-Barthélemy (サン・バルテルミー)
x j	Saint Helena (セントヘレナ島)
x d	Saint Kitts-Nevis (セントクリストファー・ネビス)
x k	Saint Lucia (セントルシア)
s t	Saint-Martin (サン・マルタン)
x l	Saint Pierre and Miquelon (サンピエール島・ミクロン島)
x m	Saint Vincent and the Grenadines (セントビンセント・グレナディーン)
w s	Samoa (サモア独立国)
s m	San Marino (サンマリノ)
s f	Sao Tome and Principe (サントメ・プリンシペ)
s u	Saudi Arabia (サウジアラビア)
s g	Senegal (セネガル)
r b	Serbia (セルビア)
s e	Seychelles (セイシェル)
s l	Sierra Leone (シエラレオネ)
s i	Singapore (シンガポール)
s n	Sint Maarten (シント・マールテン)
x o	Slovakia (スロバキア)
x v	Slovenia (スロベニア)
b p	Solomon Islands (ソロモン諸島)
s o	Somalia (ソマリア)
s a	South Africa (南アフリカ共和国)
x s	South Georgia and the South Sandwich Islands (南ジョージア・南サンドウィッチ諸島)
s d	South Sudan (南スーダン)
s p	Spain (スペイン)
s h	Spanish North Africa (西領北アフリカ)
x p	Spratly Island
c e	Sri Lanka (スリランカ)
s j	Sudan (スーダン)
s r	Surinam (スリナム)
s q	Swaziland (スワジランド)
s w	Sweden (スウェーデン)
s z	Switzerland (スイス)
s y	Syria (シリア)



〔コード表〕（続）

コード	国名・地域名
c h	Taiwan (台湾)
t a	Tajikistan (タジク共和国)
u g	Uganda (ウガンダ)
u n	Ukraine (ウクライナ共和国)
t s	United Arab Emirates (アラブ首長国連邦)
u k	United Kingdom (イギリス)
u s	United States (アメリカ合衆国)
u c	United States Miscellaneous Caribbean Islands (米領カリブ海諸島)
u p	United States Miscellaneous Pacific Islands (米領太平洋諸島)
u y	Uruguay (ウルグアイ)
u z	Uzbekistan (ウズベク)
n n	Vanuatu (バヌアツ)
v c	Vatican City (バチカン市国)
v e	Venezuela (ベネズエラ)
v m	Vietnam (ベトナム)
v i	Virgin Islands of United States (米領ヴァージン諸島)
w k	Wake Island (ウェーク島)
w f	Wallis and Futuna (ワリス諸島)
w j	West Bank of the Jordan River (ヨルダン川西岸)
s s	Western Sahara (西サハラ)
y e	Yemen (イエメン)

## 〔コード表〕（続）

コード	国名・地域名
z a	Zambia（ザンビア）
r h	Zimbabwe（ジンバブエ）
v p	[v. p.]
x x	[出版地不明] 又は [s. l.]

## 《注意事項》

本表に挙げた国名・地域名の英語形及びコードは、「*MARC21 Code List for Countries*」に準拠している。ただし、次に挙げる4ヶ国に対応するコードのみ、同リストとは異なる。

- 1) Canada（カナダ）
- 2) United Kingdom（イギリス）
- 3) United States（アメリカ合衆国）
- 4) Australia（オーストラリア）

丸括弧中に示した日本語形は、「世界の国一覧表」等による。

国名・地域名間の参照関係等については、「*MARC21 Code List for Countries*」を参照のこと。例えば、ベトナムに関しては、次のような参照関係がある。

Democratic People's Republic of Vietnam	→ Vietnam（コード「v m」）
North Vietnam	→ Vietnam（コード「v m」）
South Vietnam	→ Vietnam（コード「v m」）
Vietnam, North	→ Vietnam（コード「v m」）
Vietnam, Republic of	→ Vietnam（コード「v m」）
Vietnam, South	→ Vietnam（コード「v m」）

出版地・頒布地等においては、現在「[v. p.]」という略語は使用しない。従って、[v. p.]に対応するコード「v p」は、使用不可能である。

コード「x x」は、最初の出版地・頒布地等に「[出版地不明]」又は「[s. l.]」という略語を記録する場合にのみ使用可能である。

《注意事項》（続）

以前の出版国コード表に掲載されていたコードのうち、下表左欄に示すコードは、使用不可能である。出版国コードとしてこれらのコードを選択してはならない。代わりに、右欄のコードを使用する。

旧コード	国名・地域名	新コード	国名・地域名
a c	Ashmore and Cartier Islands	a t	Australia (オーストラリア)
a i	Anguilla (アンギラ)	a m	Anguilla (アンギラ)
c p	Canton and Enderbury Islands (カントン島・デングダーバリ島)	g b	Kiribati (キリバス)
c s	Czechoslovakia (チェコスロバキア)	x r	Czech Republic (チェコ)
		x o	Slovakia (スロバキア)
c z	Canal Zone (パナマ運河地帯)	p n	Panama (パナマ)
g e	Germany (East) (東ドイツ=ドイツ民主共和国)	g w	Germany (ドイツ)
g n	Gilbert and Ellice Islands (ギルバート諸島・エリス諸島)	g b	Kiribati (キリバス)
		t v	Tuvalu (ツバル)
h k	Hong Kong (香港)	c c	China (中華人民共和国)
i u	Israel-Syria Demilitarized Zones (イスラエルーシリア非武装地帯)	i s	Israel (イスラエル)
i w	Israel-Jordan Demilitarized Zones (イスラエルーヨルダン非武装地帯)		
j n	Jan Mayen (ヤンマイエン島)	n o	Norway (ノルウェー)
l n	Central and Southern Line Islands	g b	Kiribati (キリバス)
n a	the Netherlands Antilles (蘭領アンチル)	c o	Curaçao
		s t	Sint Maarten
m h	Macao (マカオ)	c c	China (中華人民共和国)
n m	Northern Mariana Islands (マリアナ諸島)	n w	Northern Mariana Islands (北マリアナ連邦)
p t	Portuguese Timor (東チモール)	e m	East Timor (東チモール)
r y	Ryukyu Islands, Southern (沖縄)	j a	Japan (日本)

《注意事項》（続）

旧コード	国名・地域名	新コード	国名・地域名
s b	Svalbard (スバルバル諸島)	n o	Norway (ノルウェー)
s k	Sikkim (シッキム)	i i	India (インド)
s v	Swan Islands (スワン諸島)	h o	Honduras (ホンジュラス)
t t	Trust Territory of the Pacific Islands (太平洋諸島)〔信託統治領〕	f m	Micronesia (Federal States) (ミクロネシア連邦)
		n w	Northern Mariana Islands (北マリアナ連邦)
		p w	Palau (パラオ)
		x e	Marshall Islands (マーシャル諸島)
u i	United Kingdom Miscellaneous Islands (英領諸島)	u k	United Kingdom (イギリス)
u r	Soviet Union (ソビエト連邦)	a i	Armenia (アルメニア共和国)
		a j	Azerbaijan (アゼルバイジャン共和国)
		b w	Belarus (ベラルーシ共和国)
		e r	Estonia (エストニア共和国)
		g s	Georgia (グルジア共和国)
		k z	Kazakhstan (カザフ共和国)
		k g	Kyrgyzstan (キルギス共和国)
		l v	Latvia (ラトビア共和国)
		l i	Lithuania (リトアニア共和国)
		m v	Moldova (モルドバ共和国)

《注意事項》（続）

旧コード	国名・地域名	新コード	国名・地域名
u r	Soviet Union (ソビエト連邦)	r u	Russia (Federation) (ロシア連邦)
		t a	Tajikistan (タジク共和国)
		t k	Turkmenistan (トウルクメン共和国)
		u n	Ukraine (ウクライナ共和国)
		u z	Uzbekistan (ウズベク共和国)
v n	Vietnam, North (北ベトナム)	v m	Vietnam (ベトナム)
v s	Vietnam, South (南ベトナム)		
w b	West Berlin (西ベルリン)	g w	Germany (ドイツ)
x i	Saint Kitts-Nevis-Anguilla	a m	Anguilla (アンギラ)
		x d	Saint Kitts-Nevis (セント クリストファー・ネビス)
y s	Yemen (People's Democratic Republic) (イエメン民主人民共和国)	y e	Yemen (イエメン)
y u	Yugoslavia (ユーゴスラビア)	b n	Bosnia and Hercegovina (ボスニア・ヘルツェゴビナ)
		c i	Croatia (クロアチア)
		k v	Kosovo (コソボ)
		m o	Montenegro (モンテネグロ)
		r b	Serbia (セルビア)
		x n	Macedonia (マケドニア)
		x v	Slovenia (スロベニア)

## 《注意事項》（続）

以前の出版国コード表，又は現行の「*MARC21 Code List for Countries*」に掲載され，アメリカ合衆国，イギリス，カナダ，オーストラリアの州名・地域名に対応する 3 桁のコードは，使用不可能である。

出版国コードとしてこれらのコードを選択してはならない。代わりに，対応する 2 桁のコードを使用する。

なお，以下に，3 桁コードと 2 桁コードの対応関係を示す。

不使用 コード	州名・地域名，共和国名	国名	使用 コード
a b c b c c m b c n f c n k c n s c n t c o n c p i c q u c s n c y k c	Alberta (アルバータ州) British Columbia (ブリティッシュ・コロンビア州) Manitoba (マニトバ州) Newfoundland (ニューファンドランド州) New Brunswick (ニューブランズウィック州) Nova Scotia (ノバ・スコシャ州) Northwest Territories (ノースウェスト・テリトリーズ) Ontario (オンタリオ州) Prince Edward Island (プリンス・エドワード・アイランド州) Quebec (Province) (ケベック州) Saskatchewan (サスカチュワン州) Yukon Territory (ユーコン・テリトリー)	Canada  (カナダ)	c n
e n k n i k s t k u i k w l k	England (イングランド) Northern Ireland (北アイルランド) Scotland (スコットランド) United Kingdom Miscellaneous Islands (英領諸島) Wales (ウェールズ)	United Kingdom  (イギリス)	u k
a k u a l u a r u a z u c a u c o u c t u d c u	Alaska (アラスカ州) Alabama (アラバマ州) Arkansas (アーカンソー州) Arizona (アリゾナ州) California (カリフォルニア州) Colorado (コロラド州) Connecticut (コネティカット州) District of Columbia (コロンビア特別区)	United States  (アメリカ合衆国)	u s

《注意事項》（続）

不使用 コード	州名・地域名, 共和国名	国名	使用 コード
d e u	Delaware (デラウェア州)	United States  (アメリカ合衆国)	u s
f l u	Florida (フロリダ州)		
g a u	Georgia (ジョージア州)		
h i u	Hawaii (ハワイ州)		
i a u	Iowa (アイオワ州)		
i d u	Idaho (アイダホ州)		
i l u	Illinois (イリノイ州)		
i n u	Indiana (インディアナ州)		
k s u	Kansas (カンザス州)		
k y u	Kentucky (ケンタッキー州)		
l a u	Louisiana (ルイジアナ州)		
m a u	Massachusetts (マサチューセッツ州)		
m d u	Maryland (メリーランド州)		
m e u	Maine (メイン州)		
m i u	Michigan (ミシガン州)		
m n u	Minnesota (ミネソタ州)		
m o u	Missouri (ミズーリ州)		
m s u	Mississippi (ミシシッピ州)		
m t u	Montana (モンタナ州)		
n b u	Nebraska (ネブラスカ州)		
n c u	North Carolina (ノース・カロライナ州)		
n d u	North Dakota (ノース・ダコタ州)		
n h u	New Hampshire (ニュー・ハンプシャー州)		
n j u	New Jersey (ニュー・ジャージー州)		
n m u	New Mexico (ニュー・メキシコ州)		
n v u	Nevada (ネヴァダ州)		
n y u	New York (State) (ニュー・ヨーク州)		
o h u	Ohio (オハイオ州)		
o k u	Oklahoma (オクラホマ州)		
o r u	Oregon (オレゴン州)		
p a u	Pennsylvania (ペンシルヴェニア州)		
r i u	Rhode Island (ロード・アイランド州)		
s c u	South Carolina (サウス・カロライナ州)		
s d u	South Dakota (サウス・ダコタ州)		
t n u	Tennessee (テネシー州)		
t x u	Texas (テキサス州)		
u t u	Utah (ユタ州)		

《注意事項》（続）

不使用 コード	州名・地域名, 共和国名	国名	使用 コード
v a u v t u w a u w i u w v u w y u	Virginia (ヴァージニア州) Vermont (ヴァーモント州) Washington (State) (ワシントン州) Wisconsin (ウィスコンシン州) West Virginia (ウェスト・ヴァージニア州) Wyoming (ワイオミング州)	United States  (アメリカ合衆国)	u s
a c a x g a x n a x o a q e a x r a t m a v r a w e a	Australian Capital Territory (オーストラリア首都 特別地域) Coral Sea Islands Territory (コーラル・シー諸島) New South Wales (ニューサウスウェールズ州) Northern Territory (ノーザンテリトリー) Queensland (クィーンズランド州) South Australia (南オーストラリア州) Tasmania (タスマニア州) Victoria (ビクトリア州) Western Australia (西オーストラリア州)	Australia  (オーストラリア)	a t



### 1. 1. 3 記号の表記法

#### 1. 1. 3 A〔原則〕

目録システム用文字セットに含まれる記号については、転記の原則に従い、当該記号を用いてデータ記入を行う。（⇒1. 1. 2 転記の原則）

目録システム用文字セットに含まれない記号については、外字として扱う。（⇒1. 2 外字）

#### 1. 1. 3 B〈例外規定〉

以下の記号については、上記の原則にかかわらず、それぞれの項に示した方法によってデータ記入を行う。

##### (1) 不等号 (<>)

次のフィールドにおいては、不等号は使用しない。代わりに、和書においてはかぎ括弧（「」）、洋書においてはダブルクォーテーション（" "）を使用する。

- 1) T R（書誌）
- 2) A L（書誌）
- 3) P T B L（図書書誌）
- 4) U T L（図書書誌）
- 5) H D N G（典拠）
- 6) S A F（典拠）

##### (2) ダッシュ (—)

すべてのフィールドにおいて、ダッシュは使用しない。代わりに、ハイフン2つ（--）を使用する。

#### 1. 1. 3 C《注意事項》

不等号は、レコードIDを識別するための区切り記号として使用される。（⇒1. 0. 2 データ要素間の区切り記号）

目録対象資料（及びデータ記入の拠り所となった資料）に表記されている文字種が不等号であっても、上記〈例外規定〉に示されたフィールドにおいては、決して、不等号を不等号としてデータ記入を行ってはならない。

変更



## 2. 1. 12 I S B N

## 2. 1. 12 A [形式]

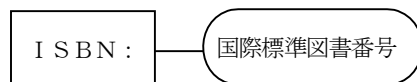
I S B N	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
国際標準図書番号	必須 2	可変長	32 バイト*	255**

\*実際には、データチェック (⇒付録 2. 1) により 10 バイト

\*\*必ず V O L 及び P R I C E と一組にして繰り返す

現在、最大 3 0 個で制限中

## 2. 1. 12 B [記述文法]



## 2. 1. 12 C [N C R 8 7 R の区切り記号の採否]

1.8.0.2 (区切り記号法) は採用しない。

## 2. 1. 12 D [フィールド内容とデータ要素]

I S B N フィールドには、目録対象資料にかかわる国際標準図書番号 (I S B N) をデータ要素として記録する。

## 2. 1. 12 E [データ要素の情報源]

どこからでもよい。

## 2. 1. 12 F [データ記入及び記入例]

## F 1

目録対象資料に付与されている I S B N のうち、V O L フィールドに記録されている巻冊次、説明語句に対応する番号のみを記録する。

ただ 1 つの出版物理単位から成る資料の場合

VOL: ISBN:4582481086 PRICE:

TR:時の回廊 : 中東歴史紀行 / ジュリアン・ハクスリー著 ; 田隅恒生訳 // トキノカイロ

PHYS:571p ; 20cm

## 2. 1. 1 2 F〔データ記入及び記入例〕（続）

複数の出版物理単位それぞれに番号がある場合

VOL:上 ISBN:4002601064 PRICE:  
 VOL:中 ISBN:4002601072 PRICE:  
 VOL:下 ISBN:4002601080 PRICE:  
 TR:物語戦後文学史 / 本多秋五著 // モノガタリ センゴ フンガクシ  
 PHYS:3 冊 ; 16cm

異なる装丁に対応する番号がある場合

VOL.: [並装] ISBN:4095101016 PRICE:  
 VOL.: 特装版 ISBN:4095101113 PRICE:  
 PHYS:14, 3185p ; 27cm

入手可能な番号が複数ある場合は、それらに対応する説明語句があれば区別して記録する。区別できない場合は、2. 1. 1 4 D 2 の指示に従う。

## F 2

複数の出版物理単位から構成される単行書誌単位全体（若しくは、~~中位の集合書誌単位~~）に対応する番号がある場合、その番号も記録する。ただし、出版物理単位それぞれにある番号についても、あれば必ず記録する。

セットに対応する番号がある場合

VOL.: セット ISBN:4469030805 PRICE:  
 VOL:上巻 ISBN:4469030813 PRICE:14000 円  
 VOL:中巻 ISBN:4469030821 PRICE:14000 円  
 VOL:下巻 ISBN:446903083X PRICE:14000 円  
 VOL:索引 ISBN:4469030848 PRICE:10000 円  
 TR:廣漠和辞典 / 諸橋轍次, 鎌田正, 米山寅次郎著 // コウ カワ シテン  
 PUB:東京 : 大修館書店, 1981-1982  
 PHYS:4 冊 ; 27cm

セットものとしてのみの番号がある場合

VOL.: セット ISBN:4477003765 PRICE:  
 VOL:第1巻 ISBN: PRICE:  
 VOL:第2巻 ISBN: PRICE:  
 VOL:第3巻 ISBN: PRICE:  
 TR:日本児童文学大事典 / 大阪国際児童文学館編 // ニホン ジトウ フンガク ダイ シテン  
 PUB:東京 : 大日本図書, 1993. 10  
 PHYS:3 冊 ; 27cm

削除

## 2. 2. 3 F〔データ記入及び記入例〕（続）

### F 1（出版地，出版者等）（続）

#### F 1. 8

古写本等の場合，N C R 8 7 R 3. 4. 2. 2A(記録の方法) の規定により，書写者は記録しない。必要に応じてNOTEフィールドに記録することができる。なお，書写者が転写者である場合は，書写者の後に「[写]」という用語を付して記録する。

### F 2（出版年等）

#### F 2. 1

複数の出版物理単位から成る資料の場合に，出版年が2年以上にわたるときは，刊行開始年と刊行終了年をハイフン（－）で結んで記録する。刊行中のときは開始年を記録し，ハイフン（－）を続ける。出版年が1年の中に収まる場合は，その年のみを記録する。

VOL:上

VOL:下

PUB:東京：東京創元社，1990

変更

#### F 2. 2

古刊本，古写本等の場合，N C R 8 7 R 2. 4. 3. 2A 別法(記録の方法)，並びに 3. 4. 3. 2A 別法(記録の方法)を採用し，表示されている出版年をそのまま記録し，西暦紀年をその後に補記する。

## 2. 2. 3 G〔フィールドの繰り返し〕

出版地，頒布地と出版者，頒布者ないしは製作地と製作者が対となっている場合は，それぞれの対ごとにPUBフィールドを作る。その組合せが複数ある場合は，PUBフィールドを繰り返す。

### 2. 2. 3 H（選択事項）

#### H 1

出版年，頒布年等については，月まで記録することができる。

#### H 2

2番目以降の出版者，頒布者等を記録する際にはNOTEフィールドにではなく，PUBフィールドに記述文法に従ってフィールドを繰り返して記録する。参照レコード等から流用入力を行う場合は，この部分についての修正を行うかどうかは，インデックスを抽出するかどうかにより判断する。

PUB:東京：講談社，1994. 3

NOTE:共同刊行：講談社インターナショナル

## 2.2.3.1 《注意事項》

## I 1

一つのPUBフィールドに、出版地、頒布地等と出版者、頒布者等の対を繰り返して記録してはならない。繰り返し記録すると、「出版者；頒布地」の部分が一つの出版者名とみなされて、頒布地に対する検索キーが正しく作成されない。

(誤) PUB:東京：国立国会図書館；東京：紀伊国屋書店(発売)，1989

(正) PUB:東京：国立国会図書館  
PUB:東京：紀伊国屋書店(発売)，1989

## I 2

記述の基盤とした出版物理単位の情報源に表示されていない出版に関する事項を記録してはならない。  
例として、次のものがある。

- 1) 複数の出版物理単位から成る資料の場合、最初に刊行された資料（又は入手可能なもののうちの最初に刊行された資料）以外の巻次に表示されている異なる出版に関する事項
- 2) 同時に別の出版者から刊行された資料に表示されている出版に関する事項

1)については、NOTEフィールドに当該出版事項を記録する。(⇒2.2.7 NOTE)

PUB:福岡：福岡国税局総務部調査統計課，1971.6-  
NOTE:昭和59年度以降の出版者：福岡国税局総務部企画課

2)については、別書誌を作成する。(⇒0.4.1 新規レコード作成の指針，図書書誌レコード)

## 〔関連項目〕

- 0.4.1 新規レコード作成の指針，図書書誌レコード
- 2.1.5 YEAR
- 2.2.7 NOTE

#### 4. 0 D [データ記入]

##### ア) 情報源

各データ要素はそれぞれのフィールドごとに定められた情報源に基づいて記録する。

複数の出版物理単位から成る資料 (⇒ 4. 0. 3 出版物理単位) については、最初に刊行された資料 (又は入手可能なもののうち最初に刊行された資料) の規定の情報源による。

イ) 規定の情報源以外から得た情報を補って記録する場合は、その事実を示すため当該事項を角括弧 ( [ ] ) に入れる。

TR:Histoire de l'antisémitisme, 1945-1993 / sous la direction de Léon  
Poliakov ; Philo Bregstein ... [et al.]

##### ウ) 区切り記号法

各フィールド内の区切り記号法及び AACR 2 の区切り記号法の採否については、4. 1 以下のそれぞれの規定に従う。

##### エ) 誤記, 誤植

誤記, 誤植のある語は、情報源にあるとおりに記録し、それに続けて [sic] と記録するか、又は、i. e. 及び正しい形を角括弧に入れて記録する。

TR:Indian economy : probelms [sic] & prospects / R.L. Nagpal

TR:Love and freindship [i. e. friendship] and other early works / Jane Austen ;  
illustrated by Suzanne Perkins ; introduced by Geraldine Killalea

TR:Marketing research : selected readings / edited by Joseph Seibert & Gorden [i. e.  
Gordon] Wills

タイトルに誤表示がある場合は、検索の便宜のために、正しい形を V T フィールドに記録することができる。

##### オ) 脱字

脱字が明らかなきとき、その字を角括弧 ( [ ] ) に入れて補記する。

TR:Archae[o]logy of Northern Mesoamerica / Gordon F. Ekholm, Ignacio Bernal,  
volume editors

タイトルに脱字がある場合は、検索の便宜のために、正しい形及び誤って表示された形を V T フィールドに記録することができる。





## 4.2.7 NOTE

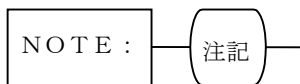
## 4.2.7A〔形式〕

NOTE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
注記	選択*	可変長	1024 バイト	16

\* 次の注記の入力レベルは「必須2」である。

- ・ AACR2 の第3章地図資料の「3.3 数値データエリア」
- ・ 書誌レコードの分割に関する注記
- ・ 記述の基盤についての注記

## 4.2.7B〔記述文法〕



## 4.2.7C〔AACR2の区切り記号の採否〕

AACR2の1.7A1（区切り記号法）及び2.7A1（区切り記号法）の採否については次のとおりとする。

1つの注記ごとにフィールドを繰り返して記録するのを基本とするため、区切り記号は用いない。

ただし、1つのNOTEフィールド中に複数の注記を記録する必要がある場合は、この区切り記号法を採用する。

## 4.2.7D〔フィールド内容とデータ要素〕

NOTEフィールドには、目録対象資料に関する注記をデータ要素として記録する。

記録されるデータ要素には次のものがある。

- ア) 他のどのフィールドにも記録できないが、記録しておくことが望ましいと目録作成機関が判断した事項
- イ) 他のフィールドに記録した事項で、更に補足・説明を加えることが望ましいと目録作成機関が判断した事項

ただし、ある特定の機関のみが所蔵している資料に固有の事項、特定の刷に固有の事項については、このフィールドに記録してはならない。必要に応じて、所蔵レコードのCOPYNTフィールドやLDFフィールドに記録する。

## 4.2.7E〔データ要素の情報源〕

どこからでもよい。

## 4.2.7F〔データ記入及び記入例〕

## F 1

NOTEフィールドに記録する注記には、導入語句を伴う定型注記と、それ以外の注記とがある。定型注記の場合は、導入語句と注記との間には、コロン、スペース（:△）を置く。

TR:Scott Fitzgerald : a biography / Jeffrey Meyers  
NOTE:Bibliography: p. [389]-393

## F 2

NOTEフィールドに記録する注記には、本システムに特有なものと、AACR2で示されたものがある。複数の注記を記録する場合は、本システム特有の注記を最初のNOTEフィールドに記録する。それ以外の注記は、その後に、関連するAACR2の1.7B(注記)に示される順序に従い記録する。ただし、ある特定の注記を最重要であると決めて、それを最初に記録してもよい。なお、本システム特有の注記が複数ある場合は、F2.1で示されている順序に従う。

## F 2. 1

本システム特有の注記としては次に示すものがある。ア)～ウ)の入力レベルは、「必須2」の扱いとする。

- ア) AACR2の第3章地図資料の「3.3 数値データエリア」  
導入語句を付して記録する。

NOTE:Cartographic Materials: Scale 1:25,000

変更

- イ) 書誌レコードの分割に関する注記

VOLフィールドの繰り返しが多数のため書誌レコードを分割した場合、分割に関する事項を注記する。

注記する内容は、次のとおりである。

- (1) 分割した巻次・部編の範囲
- (2) 分割先のレコードID

TR:West's Federal reporter : third series  
NOTE:v. 60-90 は別書誌<BA26749419>  
NOTE:v. 346 以降は別書誌<BA66398444>

## 6.0.1 タイトル変遷

逐次刊行物については、継続的に刊行される一連の刊行物全体を「逐次刊行物書誌単位」として、一つの書誌的記録（書誌レコード）を作成する。この書誌的記録は、刊行途中の本タイトルの変更等により、新たな書誌的記録を発生する場合がある。これを「タイトル変遷」という。

### 6.0.1A【タイトル変遷の判断基準】

以下の指針に従って、タイトル変遷かどうかを判断する。タイトル変遷と判断できる場合は、新規書誌レコードを作成する。この方式を「個別タイトル記入方式」という。

#### A1（本タイトルの変化）

本タイトルの変化に関しては、日本目録規則 1987 年版改訂 3 版 第 13 章継続資料（以下 NCR87R3 とする）に準拠する。本タイトルの変化には重要な変化と軽微な変化があり、軽微な変化に該当しない重要な変化の場合にタイトル変遷と判断する。

判断に迷う場合は、軽微な変化とする。ただし、出版者によるタイトルの変更の意思を示す証拠がない場合に限る。各条項番号およびその採否については、以下のとおり。

##### A1.1 重要な変化

###### (1) 主要な語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A ア) に従い、主要な語を他の語に変えたり、追加または削除した場合は、重要な変化とみなす。

相談学研究 → カウンセリング研究

###### (2) 語順の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A イ) に従い、語順に変化が生じた場合は、重要な変化とみなす。

###### (3) イニシアルまたは頭字語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A オ) に従い、イニシアルまたは頭字語が変わった場合は、重要な変化とみなす。

###### (4) 言語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A カ) に従い、言語が変わった場合は、重要な変化とみなす。

###### (5) 本タイトルに含まれる団体名の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A キ) に従い、本タイトルに含まれる団体名が変わった場合は、重要な変化とみなす。

電子通信学会誌 → 電子情報通信学会誌

###### (6) 逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の変化

年代順のシリーズ表示等、逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の変化・追加が巻次変更に伴って生じた場合は、重要な変化とみなす。（NACSIS 独自規定）（⇒6.2.1F2.8., 6.2.1F2.9）

西洋史研究 → 西洋史研究. 新輯

##### A1.2 軽微な変化

###### (1) 助詞等の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ア) に従い、助詞、接続詞、接尾語が他の語に変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

中国土地改良 → 中国の土地改良

## (2) 記号の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B イ) に従い、重要な意味を持たない記号が変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

飛鳥藤原宮発掘調査出土木簡概報 → 飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報

## (3) 逐次刊行物の種別を示す語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ウ) に従い、逐次刊行物の種別を示す語が類似の語に変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

## (4) 語順の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B キ) に従い、語順の変化、語の追加または削除が主題の変化につながる場合は、軽微な変化とみなす。ただし、語順の変化、語の追加または削除は、名称が列記されている部分における変化の場合のみ軽微な変化とみなす。(NACSIS 独自規定)

## (5) イニシアルまたは頭字語と完全形の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ク) に従い、イニシアルまたは頭字語が完全形に変わったり、逆に完全形がイニシアルまたは頭字語に変わった場合は、軽微な変化とみなす。

## (6) 顕著に表示されているタイトルの交替

主情報源上のレイアウトの変更等に伴い、より顕著に表示されているタイトルが交替した場合、従来からの本タイトルが主情報源上に表示されているかぎり、軽微な変化とみなす。

NCR87R3 の 13.1.1.3B ケ) では適用を本タイトル/並列タイトルの交替にかざっているが、顕著に表示されているタイトルの交替全般に適用する。(NACSIS 独自規定)

## (7) 文字種の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B コ) に従い、言語は変化せずに、文字種の変化があった場合は、軽微な変化とみなす。

NTT ファシリティーズジャーナル → NTT ファシリティーズ journal

View かんざき → View 神崎

韓國의 中小企業 → 한국의 중소기업

変更

## (8) 本タイトルに含まれる団体名の表記の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B サ) に従い、本タイトルに含まれる団体名の表記に微細な変化、追加または削除があったり、他の語との関連が変化した場合は、軽微な変化とみなす。ただし、微細な変化、追加または削除であっても、団体名称の変更に伴うものである場合は、軽微な変化とみなさない。(NACSIS 独自規定)

沖縄生物教育研究会誌 → 沖生教研会誌

## (9) 主要でない語の変化

その他、タイトルの意味内容や主題に変化を及ぼさない主要でない語が変化、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

県民所得推計結果報告書 → 県民所得推計報告書

上記、重要な変化としないものおよび軽微な変化となるものは、VT フィールドに OH として記録し、NOTE フィールドに巻次・年月次とともに記録する。アクセス上必要がないものは NOTE フィールドのみに記録してもよい。(⇒6.2.6F7.1, 6.2.7F3.6)

ただし、上記 A1.2 の軽微な変化の規定に関して、書誌の同定・運用上特に必要と認められる場合には、タイトル変遷とみなすこととする (NACSIS 独自規定)。

**D 4 (注記 NOTE)****D 4. 1 (アクセス先の注記)**

IDENT フィールドが利用できない場合の措置として、導入語句を伴う定型注記として記録することができる。  
複数のアクセス先がある場合は、このフィールドを繰り返す。

TR:The EMBO journal online

NOTE:URL: <http://www.emboj.org/>

NOTE:URL: <http://intl.emboj.org/>

NOTE:URL: <mailto:mduerst@ifi.unizh.ch>

NOTE:URL: <news:comp.infosystems.www.servers.unix>

**D 4. 2 (古いアクセス先の注記)**

URL 等が変更となった場合、利用不可能な古い URL を記録する。

TR:オンライン・システムニュースレター / 学術情報センター[編] | オンライン システム ニュースレター

NOTE:URL: <http://www.nacsis.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl/nl.cont.html> (2000 年 3 月まで。現在は利用不可能)

TR:The rock free online magazine

NOTE:URL: <http://www.paintedrock.com/> (as of Dec. 1998, unavailable now)

**D 4. 3 (アクセス方法の注記)**

アクセス方法に関して、導入語句を伴う定型注記として記録する。

NOTE:アクセス: WWW による

NOTE:アクセス: telnet による

NOTE:アクセス: Internet e-mail による

NOTE:Access: via File Transfer Protocol services

NOTE:Access: via gopher scheme for Gopher and Gopher+ Protocol services

NOTE:Access: via TELNET Protocol

NOTE:Access: via electronic mail addresses

NOTE:Access: via news scheme for USENET news groups and articles

**D 4. 4 (アクセス条件の注記)**

所蔵図書館の購入契約条件などによらず、その雑誌に共通するアクセス条件に関して、導入語句を伴う定型注記として記録する。

NOTE:アクセス: 利用はコンソーシアム参加館のみ

NOTE:アクセス: ライセンスフリー

NOTE:アクセス: ILL 利用は不可

NOTE:Access: only consortium libraries

NOTE:Access: license free

**D 4. 5 (ファイルフォーマット等の注記)**

HTML や PDF 等, 複数のファイルフォーマット (文字セット, 言語の違いも含む) で提供されていることについて, その旨注記する。

NOTE:plain-text, TeX, PostScript file 形式により, 利用可能

NOTE:HTML, PostScript and ASCII formats

NOTE:HTML source files stored in .zip, .tar, and .sit formats for PC, Unix and Macintosh machines

NOTE:Available in GB, BIG5, and HZ formats for online viewing

NOTE:In English and Spanish

**D 4. 6 (休刊等の注記)**

休刊・廃刊等により, アクセスができなくなった場合, その旨注記する。

NOTE:アクセス:1999 年 1 月から休刊により不可

NOTE:Access: Ceased publication in 1999

**D 4. 7 (情報源の注記)**

タイトルの情報源について注記する。

NOTE:タイトルは, no.13 タイトル画面より

NOTE:Description based on printout of online display of:Vol. 3, no. 6 (June 1996); title from title screen

**F 3. 2 1 (機関リポジトリの URL についての注記)**

タイトル単位での機関リポジトリの URL を記録することができる。

NOTE: 広島大学学術情報リポジトリ: <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/meta-bin/mt-pmtlist.cgi?smode=1&tlang=0&pagecnt=20&isrl=AN00140969>

**6. 2. 7 G [フィールドの繰り返し]**

追加

本マニュアル及び NCR87R3 に定める注記 (の種類) ごとに NOTE フィールドを繰り返して記録する。

ただし、フィールドの繰り返し制限を越えてしまう場合は、同種の注記をグループ化し、一つの NOTE フィールドの中に記録するものとする。





### 8. 5. 1 D〔データ記入及び記入例〕（続）

#### D 4 統一標目形と採用しなかったその他参照形との関係を示す情報注記

##### D 4. 1

統一標目形に採用しなかった形で、目録対象資料の規定の情報源に記述されている形を記録した場合は、その根拠となった情報源等を記録する。

NOTE: 出版社に問い合わせた結果、漢字の表記形を出版物ごとに変更していると判明

NOTE: 国内刊行洋図書に表記されたローマ字形

##### D 4. 2

さらに統一標目形に採用しなかった形で、目録対象資料の規定の情報源に記述されていない形ではあるが、参考資料等に記載されており、S F フィールドに記述されたものについてはその形がどのような参考資料によったのかを記録する。

##### D 4. 3

S A F フィールドに記録された情報について、当該レコード間の関係を記録する必要がある場合は、その旨を記録する。

HDNG: 藤本, 弘 // フジモト, ヒロシ

SAF: 藤子, 不二雄 // フジコ, フジオ

NOTE: SAF フィールド中の標目は、当該標目として記載されている人物が安孫子素雄と共同して著作を表している場合の標目

#### D 5 典拠レコード作成時に用いた目録対象資料の書誌的情報

典拠レコード作成時に用いた目録対象資料を統一標目形の決定の根拠としなかった場合でも、典拠レコードを最初に作成した時の目録対象資料についての書誌的情報を記録する。

NOTE: 研究者・研究課題総覧 1990 年版による

NOTE: 「シェイクスピア」(慶應義塾大学法学研究会, 1984)

### 8. 5. 1 E〔フィールドの繰り返し〕

1つのフィールドには原則として1つの情報を記録する。複数の情報を記録する場合は、NOTE フィールドを必要な数だけ繰り返す。

## 8. 5. 1 F 《注意事項》

## F 1

注記のうち、統一標目形の作成根拠とした情報源については、必ず記録しなければならない。

## F 2

NOTEフィールドの記録に用いる言語は特に指定しない。

## F 3

NOTEフィールドの順序については問わないが、一つのフィールドに追い込み式で記入することはしない。

## F 4

著者個人の同定識別のために記録される各種情報については、必要最小限に留めることが、個人情報の保護・プライバシー保護の観点から、望ましいことである。したがって必要以上の記述は仮に情報が得られたとしても、行わないことの方が望ましい場合もある。

## F 5

たとえ判明したとしても、次の情報については、これを記録しない。

- 1) 自宅の電話番号
- 2) 自宅の住所，連絡先

~~F 6~~

~~書誌の作成・修正中にLINKTO AUTHORコマンドを発行して典拠レコードを作成・修正すると、LINKTO発行元の書誌レコードの（ヨミを除く）TRフィールドとPUBフィールドの情報が、典拠レコードのNOTEフィールドに自動的に埋め込まれる。~~

~~HDNGフィールドに記録した形が当該資料のどこに表示されているかを、これに追記して示すことができる。~~

~~既に記録されている情報と同じ情報が埋め込まれた場合は、これを削除することができる。~~

~~なお、このとき自動的に設定される定型導入語句は、典拠レコードを作成する場合はSRC、修正する場合はEDSRCである。~~

削除

## 〔関連項目〕

8. 2. 1 HDNG

8. 4. 1 SF

8. 4. 2 SAF

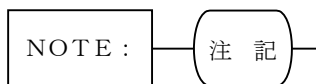
第25章 レコード修正

## 9. 5. 1 NOTE

### 9. 5. 1 A〔形式〕

NOTE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
注記	必須1	可変長	1024 バイト	128

### 9. 5. 1 B〔記述文法〕



### 9. 5. 1 C〔フィールド内容とデータ要素〕

NOTEフィールドには、典拠レコード内のデータ作成・修正等に関する各種情報を記録する。

NOTEフィールドは、他のフィールドには記録できないが、各参加機関が必要とする各種情報を記録するために設けられたフィールドである。

### 9. 5. 1 D〔データ記入及び記入例〕

#### D 1（統一標目形の作成の際の目録対象資料に関する初出タイトル注記）

統一標目形を決定し、典拠レコード作成の根拠とした目録対象資料について、そのタイトル、出版者、出版年等の書誌情報を記録する。（⇒9. 5. 1 F）

また、団体名中に地名、専門用語、人名が含まれる場合は、そのヨミについての情報源を必ず記録する。

#### D 2（統一標目形その他各フィールドの追加・修正事項及び追加・修正の根拠とした情報源を記述する修正注記）

統一標目形の修正、その他の各フィールドの追加・修正に当たって根拠とした情報源を記録する。

この注記についての詳細は、第25章レコード修正の該当条項を参照せよ。

#### D 3（団体の内容・性格・目的等を表す情報注記）

団体の同定・識別を行うために、また、団体であることが統一標目とした名称からのみでははっきりしない場合に、その団体の内容や性格、目的、具体的な活動についての情報を記録することができる。

HDNG: 日本アイソトープ協会 // ニホン アイソトープ キョウカイ

NOTE: 社団法人

## 9. 5. 1 D [データ記入及び記入例] (続)

## D 4 (団体名の変更・変遷を表す変遷注記)

団体の名称に変更・変遷がある場合は、その前後の関係を明らかにするために、変更前・変更後の名称とその関係についての情報を記録することができる。

HDNG:東邦銀行 // トヨナギ キンコウ

NOTE:昭和 16 年, 郡山商業銀行, 会津銀行, 白河瀬谷銀行が合併し, 東邦銀行となる

## 9. 5. 1 E [フィールドの繰り返し]

原則として 1 つのフィールドに 1 つの情報を記録する。複数の情報を記録する場合は、NOTE フィールドに必要な数だけ繰り返す。

~~9. 5. 1 F 《注意事項》~~

~~書誌の作成・修正中に LINKTO AUTHOR コマンドを発行して典拠レコードを作成・修正すると、LINKTO 発行元の書誌レコードの (ヨミを除く) TR フィールドと PUB フィールドの情報が、典拠レコードの NOTE フィールドに自動的に埋め込まれる。~~

~~HDNG フィールドに記録した形が当該資料のどこに表示されているかを、これに追記して示すことができる。~~

~~既に記録されている情報と同じ情報が埋め込まれた場合は、これを削除する。~~

~~なお、このとき自動的に設定される定型導入語句は、典拠レコードを作成する場合は SRC、修正する場合は EDSRC である。~~

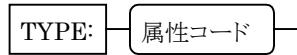
削除

## 12.3.1 TYPE

### 12.3.1A [形式]

TYPE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
属性コード	必須 2	固定長	1 バイト	1

### 12.3.1B [記述文法]



### 12.3.1C [フィールド内容とデータ要素]

TYPE フィールドには、統一標目形 (HDNG) に示される著者の属性をコード化して記録する。

### 12.3.1D [データ記入及び記入例]

属性コードには、統一標目形に示される著者が団体であることを示す 1 桁のコード「c」を記入する。(→ 付録 1.7 その他のコード表)

HDNG:British Museum  
TYPE:c



## 12.3.2 UNID

### 12.3.2A [形式]

UNID	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
同定不能フラグ	不使用	固定長	1 バイト	1

### 12.3.2B [フィールド内容とデータ要素]

UNID フィールドは不使用とする。

### 12.3.2C [データ記入及び表示例]

UNID フィールドには同定不能フラグ等, いかなるデータをも記入してはならない。



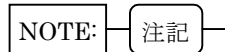


## 12.5.1 NOTE

### 12.5.1A [形式]

NOTE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
注記	必須 1	可変長	1024 バイト	128

### 12.5.1B [記述文法]



### 12.5.1C [フィールド内容とデータ要素]

NOTE フィールドには、典拠レコード内のデータ作成・修正等に関する各種情報を記録する。

NOTE フィールドは、他のフィールドには記録できないが、各参加機関が必要とする各種情報を記録するために設けられたフィールドである。

### 12.5.1D [データ記入及び記入例]

#### D1 (統一標目形の作成の際の目録対象資料に関する初出タイトル注記)

統一標目形を決定し、典拠レコード作成の根拠とした目録対象資料について、そのタイトル、出版者、出版年等の書誌情報を記録する。(→ 12.5.1F)

#### D2 (統一標目形その他各フィールドの追加・修正事項及び追加・修正の根拠とした情報源を記述する修正注記)

統一標目形の修正、その他各フィールドの追加・修正に当って根拠とした情報源を記録する。この注記についての詳細は、第 25 章レコード修正の該当条項を参照せよ。

#### D3 (団体の内容・性格・目的等を表す情報注記)

団体の同定・識別を行うために、また、団体であることが統一標目とした名称からのみでははっきりしない場合に、その団体の内容や性格、目的、具体的な活動等についての情報を記録することができる。

HDNG:Friends of the Earth

NOTE:A charitable group based in the UK but works internationally

HDNG:Ballet du XXe siècle (Belgium)

SAF:Béjart Ballet Lausanne (Switzerland) <>

NOTE:Muriset, Y. Béjart, le tournant, 1988: p. 4 of cover (within less than three months [beginning in May 1987], Béjart, the choreographer of the Ballet du XXe siècle, moved his troupe from Brussels to Lausanne and transformed it into the Béjart Ballet Lausanne)

#### D4 (団体名の変更・変遷を表す変遷注記)

団体の名称に変更・変遷がある場合は、その前後の関係を明らかにするために、変更前・変更後の名称とその関係についての情報を記録することができる。

HDNG:Stadtbibliothek Bern

SAF:Stadt- und Hochschulbibliothek Bern <>

NOTE:In 1951 name changed to Stadt- und Hochschulbibliothek

HDNG:Université de Lyon II

SAF:Université de Lyon <>

SAF:Université Claude Bernard <>

SAF:Université Jean Moulin <>

NOTE:In accordance with the reorganization of the French university system in 1970 the University of Lyon was divided into three parts: Université Claude Bernard, Université de Lyon II, and Université Jean Moulin

### 12.5.1E [フィールドの繰り返し]

原則として 1 つのフィールドに 1 つの情報を記録する。複数の情報を記録する場合は、NOTE フィールドを必要な数だけ繰り返す。

**12.5.1F 《注意事項》**

~~書誌の作成・修正中に LINKTO AUTHOR コマンドを発行して典拠レコードを作成・修正すると、LINKTO コマンド発行元の書誌レコードの(ヨミを除く)TRフィールドとPUBフィールドの情報が、典拠レコードのNOTEフィールドに自動的に埋め込まれる。~~

~~HDNGフィールドに記録した形が当該資料のどこに表示されているかを、これに追記して示すことができる。既に記録されている情報と同じ情報が埋め込まれた場合は、これを削除する。~~

~~なお、このとき自動的に設定される定型導入語句は、典拠レコードを作成する場合は SRC、修正する場合は EDSRC である。~~

削除

## 25. 0 D〔注意事項〕

### D 1

典拠レコードは、図書書誌レコード、雑誌書誌レコードの両方にリンクしている場合があることに留意しなければならない。

### D 2

学術情報センターへの連絡を要する事項については修正の際に必ず、その修正内容、修正事由、修正の根拠となった情報源、修正日及び参加組織ID番号を記録した修正注記を、NOTEフィールドに記述するものとする。

この記述は、後の記述の確認を、より容易に行うことができるようにするためである。

記述例は〔修正事項一覧〕を参照すること。

### D 3

NOTEフィールドにおいては、原則として、データの修正及び削除は行なわない。

ただし、以下の場合には、この限りではない。

1) 他のフィールドの修正・削除の結果、そのフィールドに関する注記の修正・削除の必要が生じた場合には、併せて修正注記を修正・削除することができる。

~~2) レコードの作成・修正時にシステムにより埋め込まれるSRC・あるいはEDSRCが他のNOTEフィールドと重複するなどの理由により不必要と考えられる場合には、修正・削除することが出来る。~~

削除



## 51. 1C〔第2章〕（図書）

### C1〔2. 0. 2. 2別法〕（記録の書誌レベル）

⇒B1〔1. 0. 2. 2別法〕

### C2〔2. 0. 6. 2別法〕（目録用の言語）

⇒B3〔1. 0. 6. 2別法〕

### C3〔2. 0. 6. 3別法1〕（文字の転記：常用漢字）

⇒B4〔1. 0. 6. 3別法1〕

### C4〔2. 0. 6. 3別法2〕（文字の転記：洋図書）

⇒B5〔1. 0. 6. 3別法2〕

### C5〔2. 1. 1. 1C別法〕（本タイトルとするものの範囲：別タイトル）

⇒B7〔1. 1. 1. 1A別法〕

### C6〔2. 1. 3. 2別法〕（並列タイトルの記録）

この条項については、別途検討を行う。

### C7〔2. 1. 4. 2別法〕（記録の方法：タイトル関連情報）

本則及び別法を選択的に採用する。

タイトル関連情報から索引を抽出すべき場合は、本則に従い、TRフィールドに、そうでない場合は、別法に従い、NOTEフィールドに記録する。

### C8〔2. 1. 5. 1別法〕（著者表示とするものの範囲：監修者、監訳者、校閲者等）

この条項については、別途検討を行う。

### C9〔2. 1. 5. 1D別法〕（著者表示とするものの範囲：記録する個人名、団体名等の数）

⇒B10〔1. 1. 5. 1D別法〕

## 5 1. 1 C [第2章] (図書) (続)

## C 1 0 [2. 2. 1. 2 別法] (記録の方法：版表示)

⇒ B 1 1 [1. 2. 1. 2 別法]

## C 1 1 [2. 4. 1. 1 B 別法] (出版地，発売地等とするものの範囲：同一出版者の複数の出版地)

この条項については，別途検討を行う。

~~C 1 2 [2. 4. 2. 1 D 別法] (出版者，発売者等とするものの範囲：発売者等の記録)~~~~⇒ [1. 4. 2. 1 B 別法]~~

## C 1 2 [2. 4. 3. 2 A 別法] (記録の方法：出版年等)

⇒ B 1 3 [1. 4. 3. 2 A 別法]

## C 1 3 [2. 4. 4. 2 別法] (記録の方法：製作項目)

製作地，製作者，製作年等は，出版地，出版者，出版の日付等を P U B フィールドに記録する場合でも，P U B フィールドに記録する。

ただし，これらの記録は，「入力レベル：選択」である。

## C 1 4 [2. 5. 1. 2 別法 1] (記録の方法：形態に関する事項：用語：洋資料)

洋資料は A A C R 2 によって目録作業を行うので，この条項は無関係である。

## C 1 5 [2. 5. 1. 2 別法 2] (記録の方法：ページ数，図版数)

~~「国立国会図書館『日本目録規則』適用細則」に従い，別法を採用する。~~

削除

別法に従い，ローマ数字は，区別のために用いられている場合に限り，そのまま P H Y S フィールドに記録する。

ただし，実際には，ローマ数字は，対応するローマ字で代用して記録する必要がある。(⇒ 1. 1. 2 転記の原則)

## C 1 6 [2. 5. 1. 2 G 別法] (記録の方法：略語)

洋資料は A A C R 2 によって目録作業を行うので，この条項は無関係である。

